

大黒屋光太夫記念館開館20周年

令和7年度 大黒屋光太夫記念館特別展

し らん どう しん げん か い
芝蘭堂新元会と蘭学の時代

漂流と知の邂逅



2026年

入場無料

1月22日(木)～3月15日(日)

●開館時間：10:00～16:00

●休館日：月曜日

(2/23は開館)

火曜日・第3水曜日

【展示解説】

日時：2月13日(金) 13:30～

参加申込不要 / 参加費無料

■主催／鈴鹿市

■助成／公益財団法人 岡田文化財団

■大黒屋光太夫記念館

〒510-0224 三重県鈴鹿市若松中一丁目1-8

TEL・FAX 059-385-3797



交通案内

- ◎近鉄/
名古屋線伊勢若松駅下車
徒歩15分(1.2km)
- ◎車/鈴鹿ICから約40分
- ◎駐車場／無料

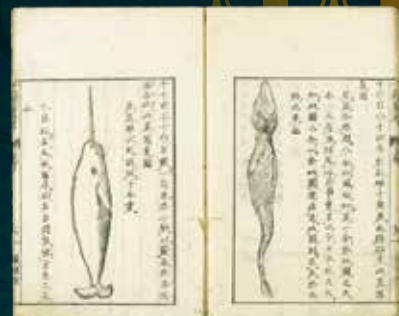
令和7年度 大黒屋光太夫記念館特別展 漂流と知の邂逅 かいこう —芝蘭堂新元会と蘭学の時代— しらんどうしんげんかい

江戸時代中期、ロシアへ漂流し、10年の歳月を経て帰国した大黒屋光太夫。彼の異国での体験は、日本の知識人たち—とりわけ蘭学者に大きな衝撃を与えました。書物から学ぶ知識にとどまっていた蘭学は、光太夫の実体験を通じて「世界を知る学問」へと進化していったのです。

本展では、《芝蘭堂新元会図》を手がかりに、帰国後の光太夫と知識人たちの交流をたどります。漂流という偶然の出来事が、近代的な世界観の芽生えへとつながったことを紹介します。



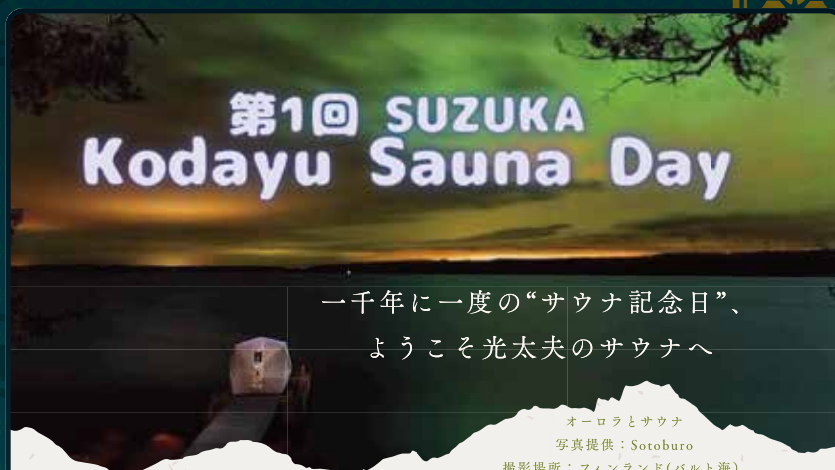
◀「解体新書」1774
岐阜県歴史資料館寄託
(江馬家資料)



「一角纂考」1795 ▶
神戸大学附属社会科学系図書館



芝蘭堂新元会図 紙本石版墨塗刷
明治35年(1902) 鈴鹿市



2026.3.7 (土)

サウナの日

大黒屋光太夫記念館 周辺

一千年に一度の“サウナ記念日”、
ようこそ光太夫のサウナへ

オーロラとサウナ

写真提供：Sotoburo

撮影場所：フィンランド(バルト海)



大黒屋光太夫 (左)



1792年に根室で作られた
サウナ小屋 (ジオラマ)

サウナ体験、記念講演
などを行います。
詳しくは広報すずか2月
20日号、文化財課Face
bookなどで告知します

2026年は「026=お風呂の年」、
そして3月7日は“千年に一度”の特別な「サウナの日」

サウナの本場・フィンランドと日本をつないだ最初の架け橋—それは、大黒屋光太夫とラクスマンの友情でした。1792年、光太夫の帰国とともに、はじめて日本にサウナが紹介され、そして今、光太夫の故郷・鈴鹿で、その歴史にちなんだ新たな地域イベントが誕生します。

サウナのあとは、光太夫ゆかりの紅茶を。心と体を芯から癒す、“ととのいの余韻”を体験していただけます。

千年に一度のサウナの日に、湯気と茶香に包まれて、光太夫とラクスマンの物語が動き出します。

主催：鈴鹿市 フィンランド政府観光局 大黒屋光太夫顕彰会

詳しくはこちらから

